

## 吹田スタジアムフェスタ2019開催

令和元年8月31日(土) ㈱ガンバ大阪と吹田市主催による、吹田スタジアムフェスタがパナソニックスタジアム吹田で開催されました。

ガンバ大阪後援会・吹田警察署・吹田消防署・吹田保健所・大阪府それぞれ工夫された内容のブースを出され、市民のフリーマーケットや縁日など多くの出展もありました。

食育啓発として、公益社団法人 大阪府栄養士会からは、食育SAT(『Satisfactory "à La Carte" Tray』の略)システムを用いて栄養診断を実施しました。

SATシステムとは、パソコンに事前に身長、年齢、性別、運動量を入力しておき、トレイにICタグが付いた食品や料理のフードモデルをとり、センサーボックスに乗せると、瞬時に栄養診断結果ができるシステムです。量は2倍や半分など操作も可能です。

栄養診断結果は星の数で評価されます。また、各栄養素量やエネルギー量を日本人の食事摂取基準に照らし合わせて、目標量に対してどれくらい摂取できたかも評価できるようになっています。

今回は夕食をテーマにし、普段食べているような内容、または昨日の夕食をフードモデルから選んでトレイにのせていただき、栄養診断を実施しました。

家族連れが多く、子ども達はフードモデルにひかれ、日頃食べているものより食べたいものという子もいましたが、お父さんやお母さんと相談しながら選び、時にはトレイの順番待ちが出るほど人気がありました。

「選んだ料理の診断結果は星1つだけど、これを足せば星が3つになるよ。」

「お母さん薄味をお願いしますね。」「お父さん食べすぎ。」など和やかなアドバイス風景も見られました。

結果をプリントアウトし、食生活を見直すきっかけにしていただければと、参加者に持ち帰っていただきました。

169名の方々の参加となり、スタッフ一同、それぞれに応じたアドバイスをさせていただきました。

(文責 医療 藤井千絵)

